サポート情報記事

Policy Acknowledgement：要件と権限

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

展開とセットアップへのアクセス 4

Microsoft Graphの権限 4

ハブとコンテンツの権限 5

各アクセス層を独立して確認する 5

展開の引き継ぎを準備する 6

サービスと記録モード 7

ポリシーキャンペーンを開始する前に、展開の権限、ソースコンテンツへのアクセス、製品のロールを準備します。Microsoft Graphの権限の承認と製品のロールの割り当ては、別々の作業です。

展開とセットアップへのアクセス

ソリューションはSharePoint Online向けのSPFxパッケージです。パッケージのインストール手順はKB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法に従ってください。初期設定を行う担当者は、選択したストレージサイトを管理し、必要なリストを作成できる必要があります。新しいサイトの作成には、テナント内にそのサイトを作成する権限も必要です。

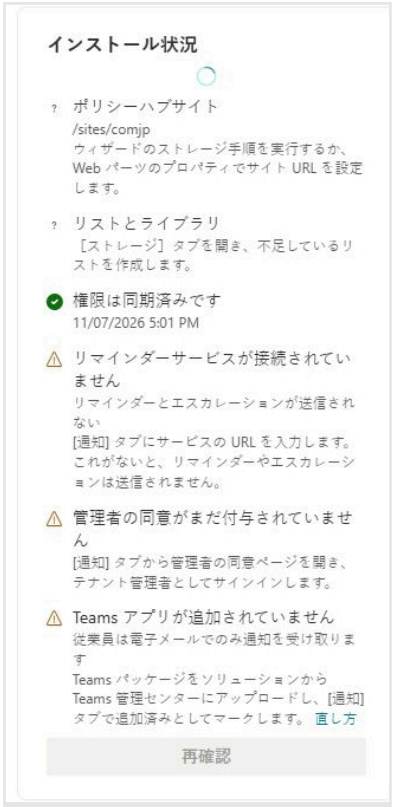
管理者グループが設定される前は、Policy Adminは代替としてサイト所有者の権限を使用します。グループが割り当てられると、グループのメンバーシップによって製品の管理権限が決まります。製品のロールは、SharePointページの編集やテナントアプリの展開の権限を自動的には付与しません。

Microsoft Graphの権限

ソリューションパッケージは、次のMicrosoft Graphスコープを要求します。

スコープ	製品での用途
`User.Read.All`	従業員のプロフィールと組織情報。
`GroupMember.Read.All`	対象者とロールで使用するグループメンバーシップ。
`Directory.Read.All`	従業員とグループの検索で使用するディレクトリデータ。
`Mail.Send`	現在のユーザーのメールボックスから送信する手動リマインダーメール。

テナント管理者に、組織のSharePoint APIアクセス管理手順に従ってパッケージの要求を承認してもらいます。従業員やグループの選択画面でデータを読み込めない場合は、対象者のルールを変更する前に承認を確認してください。



Policy Adminのインストール確認

ハブとコンテンツの権限

Policy Adminでロールのグループを割り当て、権限を適用します。すべてのWebパーツを、意図した同じハブに接続する必要があります。従業員には元のポリシーコンテンツへのアクセスも必要です。ポリシーカードにURLを設定しても、参照先のファイル、ページ、外部サイトへの権限は付与されません。

アクセスを制御するには、明示的なEntra IDグループまたはハブサイトのSharePointグループを使用します。**ライセンスを取得したすべてのユーザー**をユーザーごとのライセンス検証として扱わないでください。現在のロール判定ロジックは各ユーザーのライセンスを確認しません。

各アクセス層を独立して確認する

正常な展開には、複数の独立したアクセスが必要です。パッケージの展開担当者がポリシー管理者である必要はなく、従業員が割り当てを読むために展開権限を持つ必要もありません。責任を分けると、回避策として広い管理アクセスを付与せずに失敗を診断しやすくなります。

アクセス層	有用な受け入れ確認	失敗した場合の典型的な影響
パッケージとページ	対象ユーザーが公開ページとWebパーツを読み込める。	アプリに到達できない、または表示できません。
ディレクトリ	権限のある操作担当者が目的の従業員とグループを解決できる。	選択欄、対象者選択、ロール解決が失敗する場合があります。
ハブデータ	アカウントがそのロールに必要なレコードを読める。	ページは開いても、ポリシーや割り当ての読み込み時に失敗する場合があります。
ソースコンテンツ	従業員が文書やWebサイトを直接開ける。	ポリシーカードが見えても内容を読めない場合があります。
証跡の書き込み	試験用従業員が設定された記録経路を完了できる。	閲覧は成功しても確認が失敗します。
報告階層	ディレクトリに期待するマネージャー関係がある。	マネージャーのチームが不完全、または想定と異なる場合があります。

代表的なアカウントで確認を実施します。サイト所有者でもある管理者は、通常の従業員が失敗する場合でも、高いSharePointアクセス権で成功することがあります。同様に、複数のロールグループに属するポリシー所有者は、制限された作成者アカウントの信頼できる代用にはなりません。

展開の引き継ぎを準備する

選択したハブURL、従業員の入口ページ、リーダーページ、ロールグループ、ソースの場所を記録します。それぞれを保守できる人を特定します。ポリシー所有者はソースファイルが移動したときの連絡先を把握し、サポート管理者は展開を一か

ら再構成せずに、ページ移動の問題とサービス書き込みの問題を区別できるようにします。

試験を開始する前に、代表的な従業員のディレクトリIDとマネージャーを確認します。キャンペーンは従業員とマネージャーの情報を割り当てに保存します。後でディレクトリが変わっても、古い割り当ての全フィールドが書き換わるわけではありません。そのため、組織変更時は従業員がサインインできるかだけでなく、チームレポートも検証します。

手動メールリマインダーでは、実際に送信する操作担当者をテストします。アプリはその人のメールボックスを使用し、自動通知は別のサービス設定に依存します。メール関連のAPI要求を承認しただけでは、メールボックス、特定の受信者への配信、バックグラウンドサービスは検証されません。

これらの確認結果を展開の詳細とともに保持します。失敗の報告には、影響を受けるアカウント、ハブとページ、操作、エラー時刻を含めます。各層は独立して成功または失敗するため、「権限は承認済み」という一般的な説明よりも、対応に役立ちます。

サービスと記録モード

Serviceモードには、到達可能なサービスURLと正常な管理者同意の確認が必要です。サービスへの同意は、SPFxパッケージのGraph権限の承認とは別です。自動リマインダー、エスカレーション、継続的な対象者処理には別のサービスコンポーネントが必要であり、設定を入力するだけではこれらの処理は実行されません。

警告

Directモードは従業員に割り当てリストと確認リストへの投稿権限を付与します。本番の従業員データを使用する前にKB10500. Policy Acknowledgementのロールと権限を設定する方法とKB10509. Policy Acknowledgementのデータ保存：DirectモードとServiceモードを確認してください。Webパーツのフィルターや対象ユーザー設定は、データの権限の代わりにはなりません。